

産業能率大学 経営学部

進路支援ゼミ I (3年次ゼミ・経営学科)	履修年次	3
	単位	2
中村 知子、漆田 隆司、大神 賢一郎、倉田 洋、齊藤 聡、齊藤 弘通、佐藤 義博、杉田 一真、高原 純一、武内 千草、田中 彰夫、都留 信行、番田 清美、光定 洋介	配当期	前
	授業方法	演習/対面
授業の内容		
<p>【授業の概要】</p> <p>少人数のゼミ形式で「現代ビジネスの理解」「優良企業・成長企業の研究」「自己の能力開発」「進路・就職対策」「テーマ研究」について課題に取り組み、学内外での活動を行い、成果の発表・討論を行う。ゼミの活動を通じて、「学生時代に何をしてきたか」「何ができるか」といった「自分の強み」をつくり、自信を持って伝えられるようにする。また、ゼミの活動を通じて、ビジネスの現場に触れ、企業の実態を知ることで、自己の役割やキャリアを考える材料を増やし、自分のキャリアを明確にしていく。</p> <p>さらに、志望する業界や職業、企業に向けた対策に取り組み、自己の弱点の克服、知識・スキルの強化、学力の向上、資格取得など志望達成のための行動計画を、この授業を通して身に付けた計画立案力を活かして自らの計画を立て実行していく。これらの取り組みを通じて、社会で活躍するビジネスパーソンとしての資質・能力の醸成を図る。</p> <p>なお、ゼミの担当教員はアカデミックアドバイザーと進路(就職)支援のアドバイザーを兼ね、2年後学期から4年後学期までのアドバイザーを継続して担当し、キャリアセンターと連携した進路支援、就職指導、面談をゼミ単位で行う。</p> <p>また、授業外学習の指示・提出は、manabaで行う。</p>		
この科目の到達目標		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己のキャリア形成に対する意識を持ち、進路の目標の実現に向け主体的に取り組むことができる。 ・ ビジネスの現場に触れ、実態を知り、優良企業・成長企業について調べ、キャリア設計に役立てることができる。 ・ ゼミ活動を通じて、社会人として必要な素養を身に付け、資質・能力を高め、スキルを磨くことができる。 		
成績評価の方法		
小テスト、出席、活動の参加度、取り組み姿勢、リーダーシップ、活動成果の発表、グループディスカッションでの寄与度、提出物について、総合的に評価する。		
週	授業項目	
第1週	オリエンテーション科目の目的・内容・方法、単位認定方法の確認活動内容の説明、活動目標及び実施計画の確認「2年次ゼミⅡ」の課題の提出・発表(関心のある図書について)計画立案力とは？、仕事の進め方<キャリアセンター:初回ガイダンス(約15分)>進路(就職)支援体制の説明、キャリアセンターの担当職員紹介等	
第2週	「計画立案力の醸成」テーマを設定し、ガントチャートの作成を行う	
第3～13週のうち2～3週分	「現代ビジネスの理解」に関するゼミ活動:情報収集、活動計画立案、実施、成果報告・討論	
第3～13週のうち2～3週分	「優良企業・成長企業の研究」に関するゼミ活動:情報収集、活動計画立案、実施、成果報告・討論	
第3～13週のうち2～3週分	「自己の能力開発」「進路・就職対策」に関するゼミ活動:情報収集、活動計画立案、実施、成果報告問題演習、模擬試験、結果分析<キャリア設計についての特別講義>	
第3～13週のうち2～3週分	「テーマ研究」に関する活動課題設定・計画の確認、活動報告、成果の中間発表	
第3～13週のうち2～3週(ゼミごとに時期を調整)	<キャリアセンター:面談>進路(就職)に関する面談をキャリアセンター職員と行う。-学生は、事前に「進路登録票」を提出、事後に面談報告を作成、学生ポートフォリオに保存する	
第14週	まとめ:活動実績、成果のまとめ夏休み中の活動・課題、後学期の「進路支援ゼミⅡ」について<キャリアセンター:夏休み直前講座(約20分)>夏休みの過ごし方、自己PRシート作成の案内等	